

## 令和5年度 秋季入学式

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。ご参列の保護者の皆様、ご家族の皆様、本日は誠にありがとうございます。心よりお慶び申し上げます。

本校は、平成30年4月に開校し、一昨年度、ようやく1年次生から4年次生までがそろったばかりの学校ですが、本校の校名の「みらい創生」という言葉には、生徒のみなさん一人一人が、教職員と一緒に、自らのかけがいのない「みらい」を主体的に創り出してほしいという、強い願いが込められています。

また、本校の校歌は、「ひろしま文化大使」で、ビオラ奏者の沖田孝司さんが、作詞、作曲してくださいましたが、この歌詞の中にも、「僕らは創るみらいを創る」、「唯一無二の自分の世界」、「我が人生己が力で切り拓く」、など、校名に込められたのと同じ思いが、ちりばめられています。

生徒のみなさんは、本校でどのような未来をつくっていきたいと考えていますか？  
そのためにどのようなことにチャレンジしてみたいと考えていますか？

チャレンジしてみたいことはあるけれど、実現できるかどうか不安だという人もいるかもしれません。

このことに関して、オーストリアの心理学者のアルフレッド＝アドラーは次のような言葉を残しています。

「自分の人生を決定するのは 「いま、ここ」 を生きているあなたです」

「いま、ここ」 で何をするかで、みなさんの未来は変わります。

みなさんが自分の人生をより良くしようと本気で願えば、より良くすることができます。ここでいう本気で願うとは、「常に願いを想い続け、その願いを実現するための正しい行動をする」という意味です。

どんなにがんばっても「できないこと」もあるよ、という人もあるかも知れませんが、正しく行動をすれば「できること」もたくさんあるはずですよ。

大切なのは、その「できること」に焦点を合わせ、勇気を持って新たな一歩を踏み出してみることです。そのことが少し先の未来の「いま、ここ」を少しだけ変え、そのことがさらに少し先の未来の「いま、ここ」を変えていきます。

未来に向けてあきらめない心があれば、人は正しく行動できます。そして、その小さな行動の積み重ねが、やがてみなさんの未来を大きく変えていきます。

再び生徒のみなさんに問います。

みなさんは、本校でどのような未来をつくっていきたいと考えていますか？  
そのためにどのようなことにチャレンジしてみたいと考えていますか？

本校の先生方は、皆さんの未来に向けたチャレンジをしっかりサポートしていきます。分からないことや困ったことがあれば、一人で悩まずにいつでも相談してください。

そして、本校を卒業するときには、「広島みらい創生高等学校で学んでよかった」「私の母校は広島みらい創生高等学校です」と、大きく胸を張って言えるようになってください。

今日、ここから始まる「広島みらい創生高等学校」での日々が、輝きを持った学校生活となり、未来を切り拓く礎となることを祈念し、式辞といたします。

令和5年10月2日

広島市立広島みらい創生高等学校長 井林 秀樹